

'15. 8. 30

**都サ連通信**

発行 東京都手話サークル連絡協議会

代表 高田 直樹

<http://tosaren.web.fc2.com/index.html>

tosaren@syuwa.tv

FAX03-3961-2445

**自立支援センター運営委員会報告**

○運営委員会 7月11日(土) 10～12時・8月は休み

○事務局より

- ・夜勤・土曜のアルバイトを引き続き募集中
- ・8月より火曜日夜間は閉所とする

○自立支援事業部

- ・職業委託訓練 8月より

○手話啓発事業

- ・特別講演会 年4回開催

第2弾 8月9日(日) 山本康彦氏

第3弾 10月18日(日) 砂田アトム氏

第4弾 1～2月を予定

いづれも時間は14時～16時15分

(開場13時半)

場 所：リフレッシュ氷川

参加費：1,000円

情報保障：手話通訳・OHP要約筆記・磁気ループが  
付きます

申込方法：チケット販売、または自立支援センターへ  
申込

○センター啓発事業

- ・第17回自立支援センターまつり

7月20日(海の日) 10時～16時半

\*次回運営委員会 9月12日(土) 10時から

(文責 高田・杉石)

**福祉対策会議報告****第99回 福祉対策会議報告(7月6日)**

- ・7/4(土) 聴覚障害者制度改革推進中央本部主催の緊急学習会(障害者総合支援法と障害者差別解消法)を開催。
- ・東聴連は、都との福祉懇談会を6/26(金)に実施、都からの出席者は過去最多だった。
- ・中難協は、7/8(水)に都交渉、8/30(日)30周年記念の「集い」を開催。
- ・都サ連からは、8/1～2の福島被災地ツアーについて報告。
- ・東京都の福祉のまちづくり推進協議会の提言がまとまった。

【参政権】統一地方選挙公開討論会時の、手話通訳付き動画の削除を申し入れる。

\*次回会議日程：9月7日(月) 第100回 福祉対策会議

**第37回聴覚障害者施策推進地域担当者会議  
(7月23日)**

- ・手話言語法意見者の採択は、東京で100%達成。
- ・7/4(土) 緊急学習会には、全国から170名が参加。その中から、明石市の「手話言語法コミュニケーション条例」についての報告。全日本ろうあ連盟のホームページにも掲載。
- ・7/4(土)に基づく学習。「人権としてのコミュニケーションと障害者差別解消法」by中難協 新谷理事長。
- ・手話言語法早期制定を求めて、8/27(木) 議員交渉と報告会、28(金) 決起集会とパレードを行う。東京のパレード動員目標は400名以上なので協力を。
- ・4/25に発生したネパール大地震に対する支援の 캄パに協力を。
- ・気象庁見学会の第二弾を計画中(11/14開催予定)。
- ・『We Love コミュニケーション』『みんなでめざそうよりよい手話通訳』の残部販売中。

**福祉対策会議100回記念団体交流納涼会(8月3日)**

- ・福祉対策委員と構成団体の役員など31名が参加し、いつもの会議とは異なる雰囲気、有意義なひとときを過ごした。

(文責：委員 林)

## 福島被災地バスツアー

### 「忘れない、東北を！」の報告

8/1 (土) 7:45 参加者 35 名で新宿を出発

⇒ 13:00 過ぎ 郡山市立中央公民館に到着

福島県手話サークル連絡協議会(略称: 県手連)45 名との交流会

1. 県手連 佐藤政昭会長のあいさつ

2. 都サ連 高田直樹代表のあいさつ

3. 被災地から報告

☆いわき手話サークルから 大和田仁氏

☆福島第一原発(1F(いちえふ))から 平山思文氏(東京都出身)

4. 6グループに分かれて懇談

5. レクリエーション(ゲームと手話コーラス)

⇒ 16:00 名残を惜しみながら散会、福島市穴原温泉のホテルへ

⇒ 18:30 都サ連の参加者同士&平山氏を交えての交流会

8/2 (日) 8:30 ホテルを出発して南相馬市へ

⇒ 語り部さんの案内で、市内を視察

⇒ 昼食&買い物(復興支援)

⇒ 19:00 過ぎ 全員無事に新宿へ帰着

【平山氏の話より ~命を守るための二つのこと~】

① 自分の命は自分で守れ!…公助には限界があります。

② 防災訓練に参加を!…いざという時、日頃の成果を発揮して体が動きます。

2013年に続いて二回目の被災地ツアーです。東京で暮らす私たちができることは何だろうと模索していましたが、被災地から「とにかく、現地に来て、見てください!そして、現地で食事や買い物をしていただくことが復興支援につながるのです」という助言をいただき、企画が進みました。

まさに、百聞は一見に如かず。東日本大震災を体験された方々から生の声をうかがい、恐怖におののきました。地震発生時、第一原発の4号機で作業中だったという平山氏のお話は、想像を絶するものでした。氏の家族愛にも涙しました。また、かつてはそこに家々が並んでいたのに、津波ですべて流され、今では海まで見渡せるという風景、一階は津波に襲われ、柱と屋根だけが残って散在する家屋、電車が走っていない線路、今は誰も住んでいないという静まり返った地区、4年前のあの時から自転車が置かれたままだという駅の駐輪場など、今なお残るその爪跡を直に見て、語り部さんのお話を伺い、ただただ目を丸くしたり息をのんだり、心を揺さぶられた二日間でした。復興にはまだまだ時間を要します。さまざまな形の支援が、もっとも必要なのだと強く思いました。

(事務局 林)

## たましろの郷後援会役員会

7/25 (土) 毎年恒例たましろの郷夏祭りが行われました。たくさんの皆さまの来場、ボランティアの皆さま、ありがとうございました!

事務局から

2015年度会員数/

個人 896名 (972口) 団体 38 (49口)

募金箱/355個回収 ¥1,743,027 (6/30現在)

今後の予定

9/26 (土) たましろの郷バスツアー

11/8 (日) たましろフェスタ 2015 in 新宿

お申込み、チケット購入はお済みですか?

まだの方はお早めに!

たましろの郷後援会球根販売

今年もまたチューリップやスイセンの球根販売が始まりました。お申込みは後援会HPからもできます。よろしくお願いいたします。

(文責 天野)



県手連との交流の様子



語り部の神田さん  
(HPより)

南相馬市「ふるさと  
回帰支援センター」  
マスコットキャラ



のまたん

